

健・連・便 康・絡

院長 高崎 元宏

たかさきクリニック 胃内科
〒780-0072 高知市杉井流2番3号
TEL.088-885-6200

http://kochi-med.net/

(聞き手) 坂本龍馬記念館館長 小椋 克己



高知であり出された内視鏡検査 「ブリリアントブルー法」で5ミリ 程度の微小胃がんも発見可能に

企画・製作/高知新聞広告局

胃がん治療では世界のトップレベルにある日本。今回はたかさきクリニックの院長、高崎元宏さんに、胃がんの早期発見に極めて有効な内視鏡検査についてお話をうかがいました。

「がんは最初本人の自覚症状がないのですが、どのくらいものから発見できるのですか？」

高崎 胃の検診には、内視鏡検査とレントゲン検査があります。レントゲン検査では、小さな早期がんを発見するには限界がありますが、内視鏡

検査では早期のなかでも早期の「微小胃がん(5ミリ程度)」を発見できます。これらはすべて、内視鏡的な治療で治すことができ、転移の心配もないのです。

5ミリ程度という

と、かなり発見するもの難しそうですね？

高崎 この「微小胃がん」を見つけることは、普通の内視鏡検査では難しいのです。食用色素を使用した高知であり出された「ブリリアントブルー法」という方法を使うと発見可能です。この方

法は胃がんと深い関係にある胃炎の程度まで把握できる有効な方法なので

す。

内視鏡による検査や治療がそんなに普及してきたのはどのくらい前からなんですか？

高崎 内視鏡による胃の粘膜切除が一般に普及してきたのは5年ぐらい前からです。それ以前は小さながんでも手術されていきましたね。

「どんな技術は進歩しているわけですね。」

高崎 日本は、欧米に比べて胃がんの割合が高いので研究も進んでおり、技術も世界のトップレベルです。内視鏡のカメラの性能も向上し苦痛が少なくなったこともあって、検査を受ける人も増えました。昔はバリウムを飲んで、結果が悪いと、内視鏡でしたが、今はいきなり内視鏡で検査する。そうすることで早期の胃がんも見つけやすくなるわけです。

胃がんに関係が深いピロリ菌の検査が今年末から保険医療の対象に

「ピロリ菌」とい言葉をよく聞きますが？

高崎 10年ぐらい前に発見され胃炎や胃がんの

原因になっていっているのではないかとすることで、研究されていた菌で正式には「ヘリコバクターピロリ」といいます。ピロリ菌に感染していない人はほとんど胃炎になりません。胃炎が長く続くと、胃がんになりやすいことから、この菌は胃がんと非常に関係が深いのです。

「感染しているか検査できますか？」

高崎 検査は可能です。健康保険上の認可がされていませんでしたが今年暮れには保険医療の対象になりますので、検査だけではなく、あわせてこの菌を消す治療もできます。

内視鏡技術の進歩とピロリ菌の研究。この数年、胃がんの研究は進んでいるのですが、統計的には減っているのですか？

高崎 ピロリ菌の感染には食生活が深く関係しています。食生活の欧米化によって感染率も低下し、胃がんの割合は減っていますが、逆に欧米に多い大腸がんが増えてきています。

内視鏡による早期発見とピロリ菌の退治が胃がん治療に有効なのですね。ありがとうございます。